



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 4 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F
ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
(カルヤン・バネルジー会長)

例 会 記 録



「東となみロータリークラブ」への名称変更の認証状(RI 事務局より)

第 1 6 1 8 回例会

平成 2 4 年 4 月 2 5 日(水)

井波文化センターエイトホール

1. 点 鐘 高瀬会長

2. ソング 「それでこそロータリー」

3. 卓話ゲスト：堀井傑(まさる)氏【南砺消防署井波庄川
出張所副所長】紹介者：助田幸雄会員

4. ビジター：荒井進君(南砺 RC)

5. **会長の時間**：桜の花も風であつという間に散りました。穏やかな暖かい季節になってまいりました。荒井さん、ようこそ。堀井さん、卓話よろしくお願ひします。

さて、私から2つほどお知らせがあります。1つは、当クラブの名称変更について申請が、4月7日承認され、認証状がRI日本事務局より送付されました。カラヤン・パネルジーRI会長の署名がされていますので、回覧いたします。もう1つは、「となみ野公共交通フォーラム」について、南砺RCの松井会長より頂いたチラシを持ってきましたので、各自複数枚を持参下さい。知人を誘って是非出席を要請して下さい。5月7日です。このフォーラムは、昨年砺波RCが主管し、南砺RCと当クラブが共催で協力しましたが、今年でこういう形では最後で、南砺RCが主管で当クラブが協力するということになり、実質南砺RCが運営されますので、受付、司会進行とパネリスト(会長)を当クラブが出すことになりました。受付、司会については、私より後程お願ひ致します。ご協力をおねがします。

6. 幹事報告:①5月のロータリーレートは1ドル82円。
②「となみ野公共交通フォーラム」南砺RCホスト。
日時：5月7日(月)18:00受付。18:30開会。場所：福光農協中央会館(2Fホール)。食事が出ます。17:30までにお越しを。③新湊RCよりIMのDVDが届いております。④例会変更は事務局まで、お尋ね下さい。⑤本日例会終了後理事会あります。
7. 臨時理事会報告(幹事)：①4月29日(5月2日例会変更)例会取り消しの件(Faxで案内済み)②RI日本事務局から指摘を受けた、テリトリー変更申請の件、現在、井波町・庄川町・利賀村となっているのを変更するが、理事会に一任して下さい。
8. 荒井進君(南砺RC)からのお願ひ：4月27日午後国際会議場で、産学連携の講演会があり、木村日本抵抗器社長が北朝鮮に関する興味深い話をされます。是非お時間ある方はご出席ください。
9. 委員会報告：①出席委員会(代理)：13名 65.00% ②横山豊介会員より：第42回日彫展(5月3日～8日。県民会館)招待状を頂きました。【補足：例会で発言で

きず、会報紙上で】③山本：「良い歯の日キャンペーン」大勢の会員の皆様の参加に感謝します。

10. **ニコニコBOX**(本日9名 12000円、4月計49000円、年度累計493100円)

高瀬会長：ようやく春本番。荒井さんようこそ、堀井さん卓話よろしく。木村さん写真感謝。横山先生日彫展招待状感謝。

斉藤会員：早咲きリンゴの花が見られ、自然の営みに感動。

横山豊介会員：第42回日彫展、見に来て下さい。

三谷会員：木村さん写真、感謝。

中島会員：南砺消防の堀井さん、ようこそ。早退お詫び。

助田会員：堀井様ようこそ。消防の現状を語って下さい。

河合会員：木村さん写真感謝。段々来期の事が気になりました。本日は25日(ニコBOX)の日です。

岩崎会員：今日から、「テナカク」田植えです。早退お詫び。

山本会員：暖かくなってなんとなく気分も嬉しいです。木村さん、写真有難うございます。週末、娘の剣道大会の応援に行きました。後もう1回、段々寂しくなります。

卓話「消防の現況」

堀井傑氏(南砺消防署井波庄川出張所副所長)

助田会員(紹介者)：急遽、堀井副所長に卓話をお願いしました。30分では時間が足りませんが、消防の現況について、よろしくお願いします。



堀井副所長：南砺消防署井波庄川出張所の所長代理をして

おります。本来なら所長が出るべきですが、休暇中で代わりに話をさせていただきます。

消防の現状ですが、今年の合併により、現在は南砺市・砺波市・小矢部市を管轄する砺波地区消防組合となりました。元々は、南砺消防署として発足し、平成10年に砺波と合併、昨年にお矢部と合併しました。従って、職員の異動も広範囲になりました。広域になった利点は、元々境にあった、例えば安居や若林などへは、津沢から出られることなどがあります。一般市民にとってあまりなじみがないかもしれませんが、職員としては機能性の充実があり、働きやすくなったと言えます。また、広域になり職員が東京の本部などへの研修に行きやすくなりました。

さて、昨年砺波地区では30件の火災がありました。南砺市は17件でほとんどが建物火災、砺波市は9件、小矢部市は4件で、これはすべて車両火災でした。救急については年間1800件程出動しました。南砺市では、南砺市民病院と南砺中央病院がありますが、後者は夜間は医師不足で受け入れてもらえません。ある時、午後10時までOKのはずで、8時に電話したら誰も応答せず、やむを得ず南砺市民病院に搬送したら、そこで文句を言われた事がありました。受け入れ病院の対応には、医師の問題もあります。

さて、広域消防となり、2署所再編ということで、今後城端・福光間に南砺署ができ、もう一つはその後に完成します。それから、救急車やポンプ車に、AVMという異動場所を無線で本部に連絡し、本部のコンピューターで登録管理して、GPSで、次の場所へ移動できる体制を今後作ろうとしています。ポンプ車などは、一度出たらホースの手入れなどがあり、一旦署に戻らねばなりません。救急車の場合、運搬などだけで汚れていなければ、次の要請場所へ早く転回することも可能になります。また、消防車も新しいものは、少しの水と薬剤と圧搾空気、消化能力の高いものが出てきています。

それから、救急出動の事ばかりでなく、患者さんの近くにいた人(バイ・スタンダー)の応急処置によっても、経過や予後が違ってきますので、いろんな機会に救急蘇生講習が盛んになってきました。

また、あちこちに、「救急車の利用は適正に」というポスターが貼ってあります。気軽に病院へ行くのに足代わりに使う人がいます。ほんとに救急車が必要な時に使えなく

なる可能性もあり、注意して頂きたいものです。

現在、#119番は、砺波で一括して受けて指令を出す体制になっていますが、これも7年経って古くなり、今度高岡・氷見・砺波の#119番受付を、平成26年1月1日より、高岡に統合する、通信司令共同運用体制をとります。こうする事により、市の境ではどちらからでも出動できる事になります。

さて、阪神淡路大震災後、近県への緊急消防の出動もできるような体制ができ、岐阜県境までの出動も起こり得るようになりました。過去にも、新潟県中越地震や能登沖地震、福井の集中豪雨には緊急救助隊を派遣しました。今年の3月11日の東日本大震災にも、88日間、延べ104000人の出動をいたしました。富山県隊として、3月14日に1次隊が出動し、生存者の救出をし、遺体も収容しました。3次隊以降は救出が不可能でしたが、遺体探索の業務に終始しました。自分も8次隊に参加し、名取市に向かいました。野営地が宮城県農業大学の敷地で、エアータントを張りました。広島県隊と一緒に行動しました。向うでの3日目に、震度6弱の余震があり、大変怖かったです。食事は、後方支援の隊員が、パックのご飯にカレーや丼物をかけて食べさせてくれるので大変助かりました。また、例外的に、大学の風呂を使わせてもらい、有難かったです。とにかく、果てしない被害、あまりに広範囲の被害に、無力感を味わいました。戻ってきた時には、大変嬉しかったです。この砺波地区は、津波というものはないかもしれませんが、将来、必ず災害は起きます。そのためにも備えをしっかりとしましょう。